

6  
下  
聖徒伝 165

# 「全ての民の 赦しと裁き」

イザヤ書15～17章

諸国民の裁き・メシアの希望

## アウトライン

### 0. イントロダクション

I. モアブへの裁き 15章

II. モアブの破滅と希望 16章

III. アラムと北王国の裁き 17章

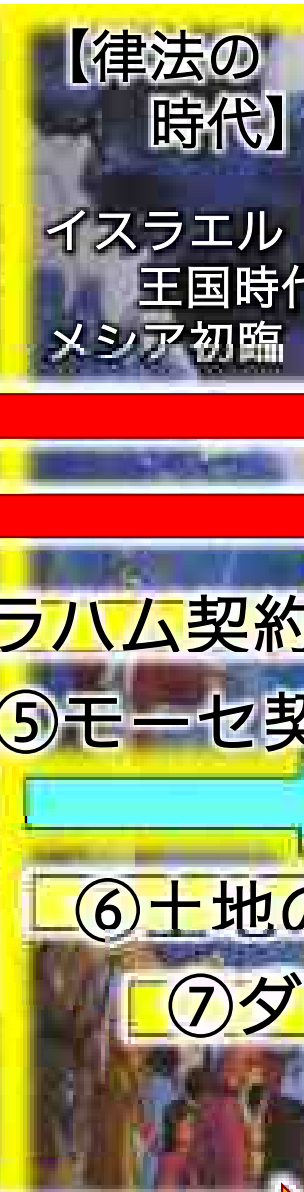
### IV. まとめと適用

赦された民として

赦しの内に日々を歩もう



死海沿岸・ヨルダン側



【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪  
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム  
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル  
王国時代  
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

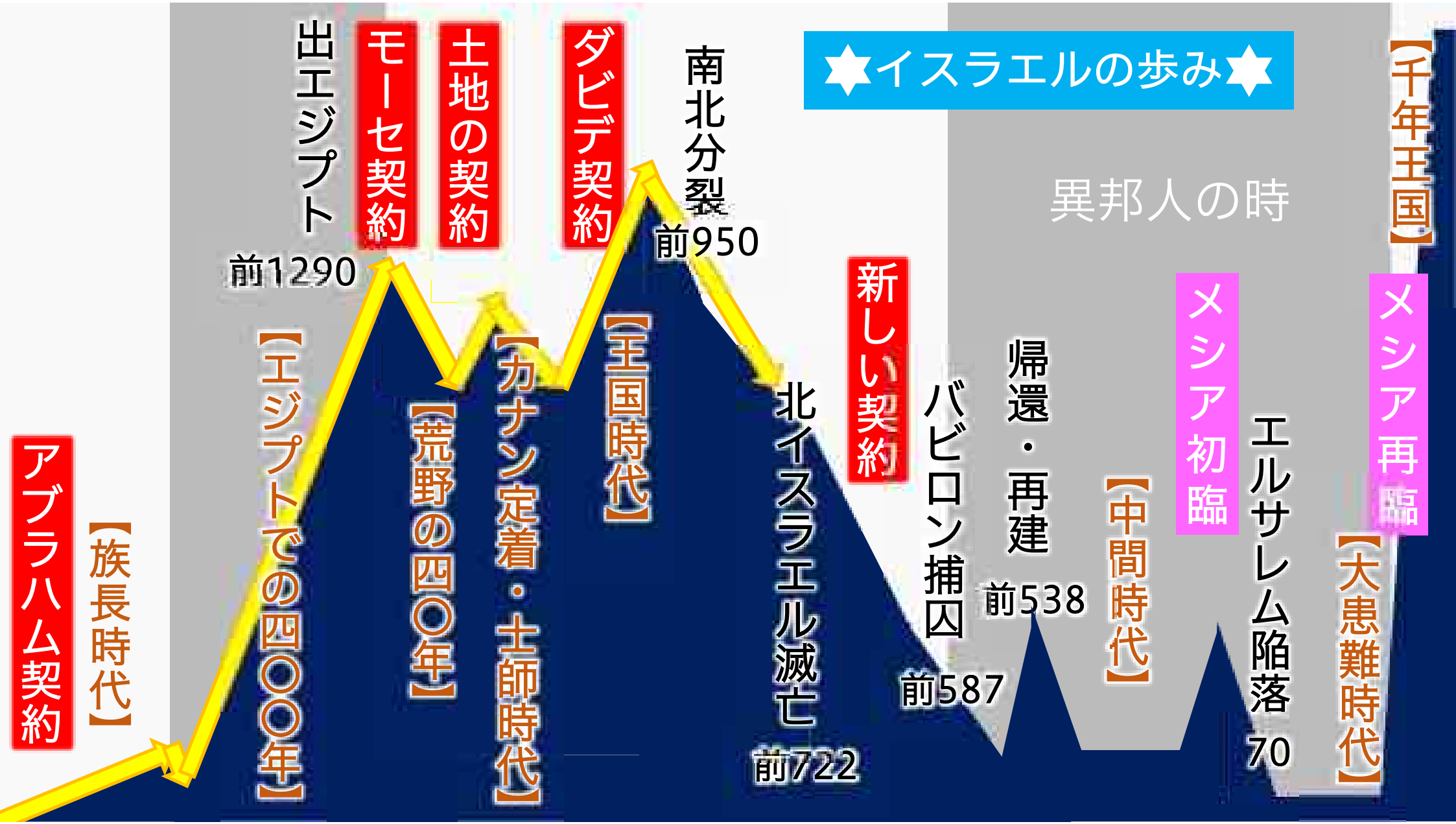
神の約束こそが  
その時代の守り

過去

現在

未来

★イスラエルの歩み★



異邦人の時

新しい契約

メシア初臨

メシア再臨

【中間時代】

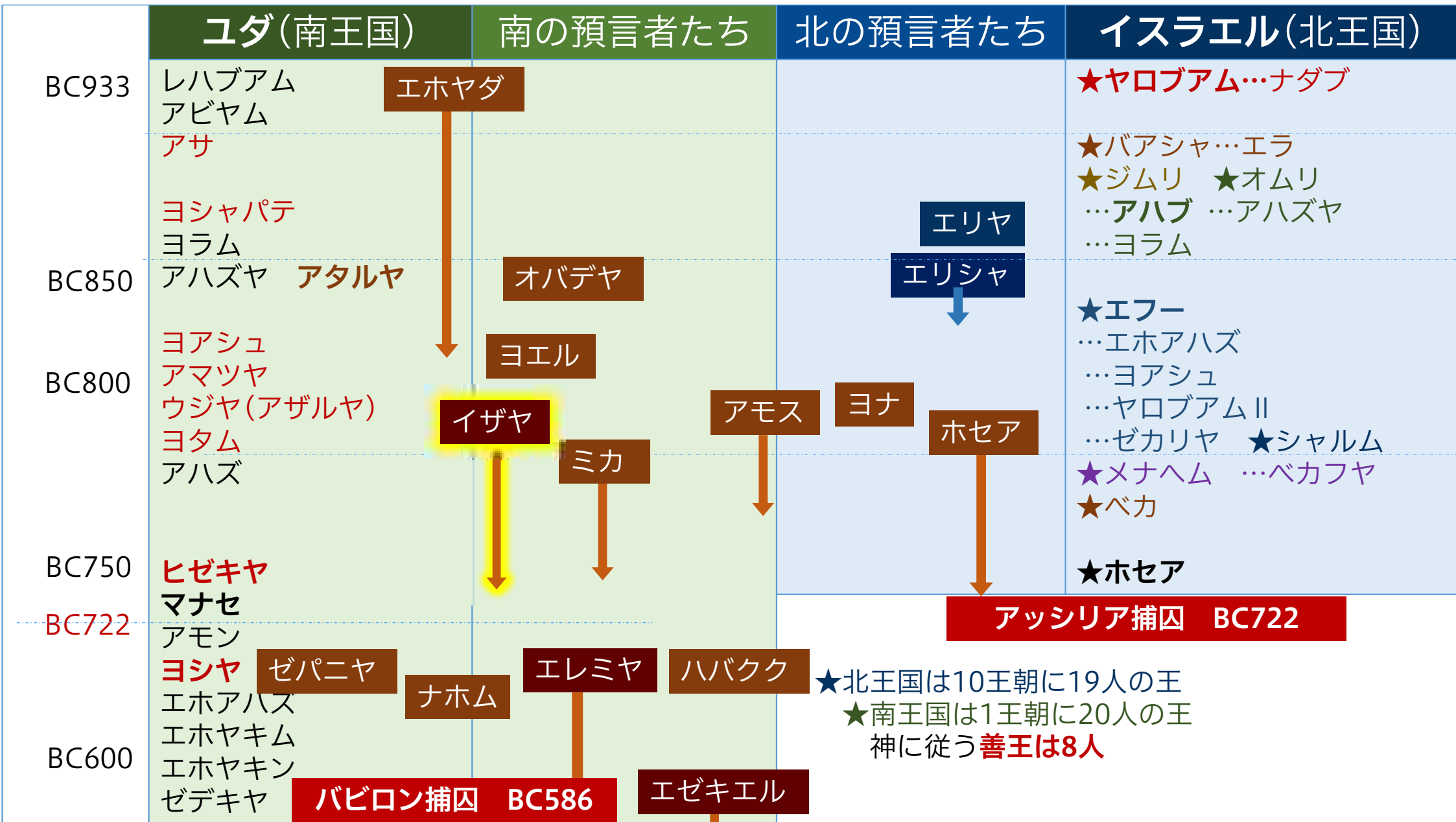
【大患難時代】

【千年王国】

## 預言者イザヤとは？

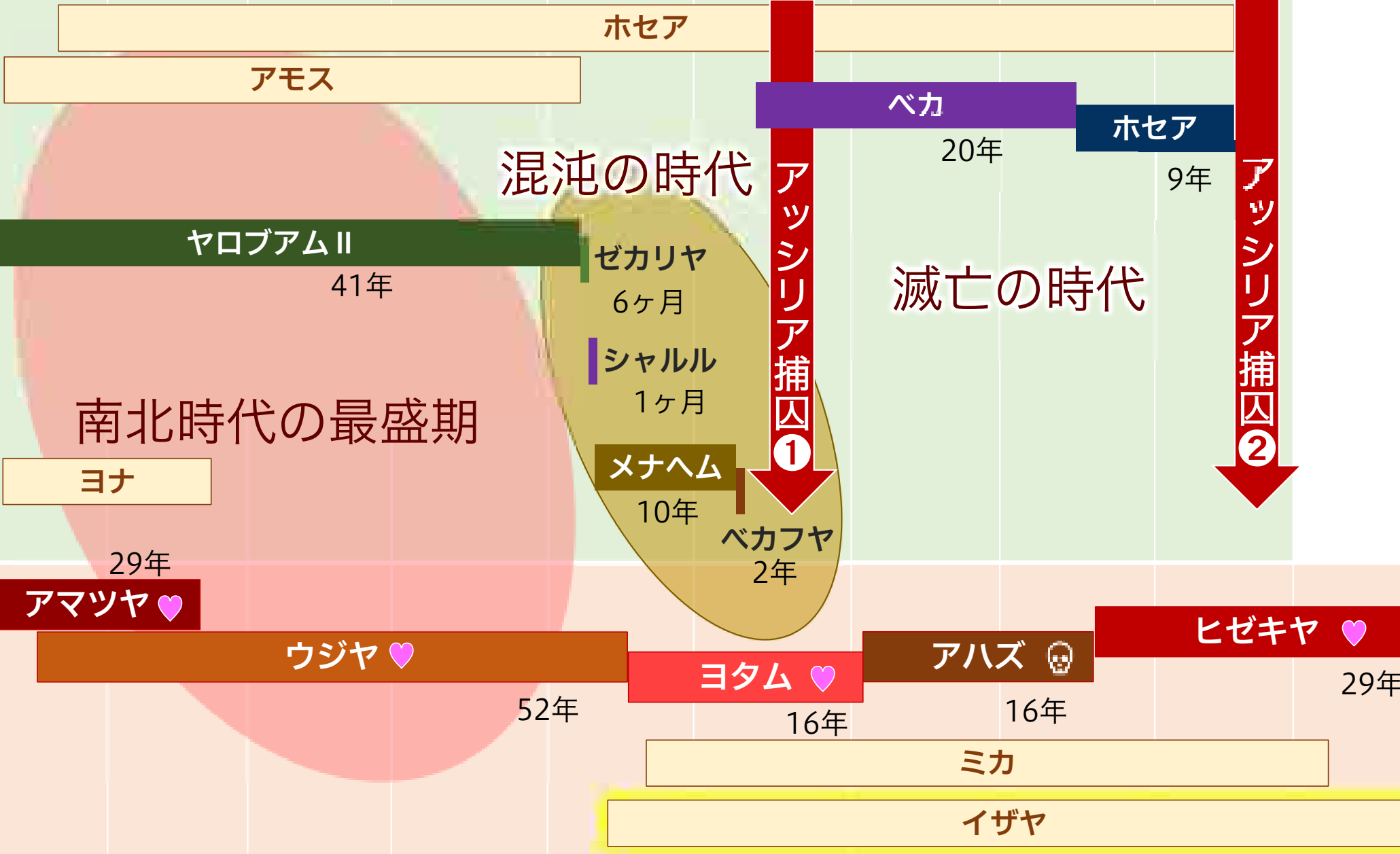
- イザヤ = “ヤハウエは救い”
- エルサレムの都で活動。
- 60年に渡り、4人の王に仕えた。  
ウジヤ→ヨタム→アハズ→ヒゼキヤの時代。  
預言者ミカとは同世代。
- 北王国、南王国の滅亡を予告。  
民の拒絶を前提に預言を告げる、過酷な使命に。  
いくつもの重要なメシア預言を告げた。





北王国イスラエル

南王国ユダ



混沌の時代

滅亡の時代

南北時代の最盛期

【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】





諸国民(異邦人)の裁きも経路は同じ



南北時代

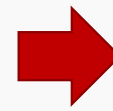


① 直近の  
苦難

メシア初臨



② 主の日  
大患難時代



③ 回復  
メシア再臨

## 3Dで預言を捕らえる

境目なく  
連続している

立体的な一つの  
かたまりとして  
とらえよう



## 時代状況 イザヤ15～17章

- 北の世界帝国**アッシリア**の脅威が目前に!!
- 南王国アハズ王の時代、**北王国**と**アラム**が組んで南王国への侵略を企てた。  
→ 両国とも、**アッシリア**により滅亡。
- アブラハムの甥ロトの子孫の**モアブ**。  
ルツの時代など、友好的な時もあったが、イスラエルに敵対し、ルベン族の地を奪う。  
→ 北王国の後、**アッシリア**により滅亡。





## Ⅰ. モアブへの裁き

イザヤ書15章

ネボ山から見たイスラエル

## モアブとは？

- ソドムの絶滅後、アブラハムの甥ロトと娘(長女)の間に産まれたモアブがルーツ  
“モアブ” = “(父は)彼女の父”
- バラムを通し、イスラエルを呪おうと…。  
姦淫、偶像礼拝に引きずり込んだ。
- ルツの時代には友好関係を結んでいた。  
ダビデが両親を避難させていたことも。



## モアブとは？

- イスラエルとは、時に敵対、時に従属。
- 北のヨラム、南のヨシャファテの侵攻時、モアブ王は長男を全焼のささげ物に。  
→ 偶像神ケモシュをおもに祭っていた。
- イザヤの時代には、ルベン族の町々を奪い、南北に領土を拡張し、繁栄していた。

**性的・靈的姦淫をもたらしてきた!!**



ケモシュ神、モアブ王、アシタロテ神

→ エジプトの影響が伺える

## モアブの裁き 一夜の滅び イザヤ15:1

モアブ\*についての宣告。「ああ、一夜のうちにアル\*は荒らされ、モアブは滅び失せる。ああ、一夜のうちにキル\*は荒らされ、モアブは滅び失せる。」

\*アブラハムの甥ロトの子孫の民族。

ルツの故郷。イスラエルとは親近だが、激しく敵対しあうようになっていた。

\*アルノン川下流の町？

\*“石垣” …モアブの城塞都市の一つ。



## モアブの裁き 悲嘆 イザヤ15:2~3

モアブは宮に、ディボン\*は高き所に、泣くために上る。ネボとメデバのことでモアブは泣き叫ぶ。頭をみな剃り落とし、ひげもみな切り落として。

その通りでは、腰に粗布をまとい、その屋上や広場では、みな涙を流して泣き叫ぶ。

\*ディボン …モアブ南部の主要都市

\*ネボ …モーセ最期の地がネボ山。

\*メデバ …イスラエル(ルベン族)が所有。  
アハブ王の時にモアブが奪取





## モアブの裁き 全土の悲鳴 イザヤ15:4

ヘシュボン\*とエルアレ\*は叫び、その叫び声がヤハツ\*まで聞こえる。それゆえ、モアブの武装した者たちはわめく。そのたましいはわななく。

\*モアブの北境。かつてはルベン族の町。

\*モアブの中心部

■北の叫びが、中心部まで届く

→モアブ全土に悲鳴が響き渡る。



## モアブの裁き 南端の町 イザヤ15:5

わたしの心はモアブのために叫ぶ。逃げ延びる者たちはツォアル\*まで、エグラテ・シェリシヤまで逃れる。ああ、彼らはルヒテ\*の坂を泣きながら登り、ホロナイム\*への道で破滅の叫びをあげる。

\*“小さい”…ロトの逃げた町か？

\*これらの町々は、南のエドムとの境界。

■モアブを襲った侵略者(アッシリア)は、たちまちモアブの全土を滅びし尽くす。



## モアブの裁き 荒廃 イザヤ15:6~7

ああ、ニムリム\*の水は荒廃した地となり、草は枯れ、若草も尽き果てて、緑もなくなる。それゆえ彼らは、残していた物や蓄えていた物を、アラビム川\*を越えて運んで行く。

\*“きよい” …モアブの豊かさを示す？

\*“柳の川” …不明。南境の川？

■モアブは、たちまちのうちに荒廃し、生き残った者は国境を越えて逃れる。



## モアブの裁き 壊滅 イザヤ15:8~9

ああ、叫び声がモアブの領土に響き渡り、その泣き声がエグライムまで、その泣き声がベエル・エリムまで届く。ああ、ディモンの水は血で満ちる。わたしはさらに、ディモンにわざわざいをもたらず。モアブの逃れた者、その土地に残った者に、一頭の獅子\*を。」

\*アッシリアのセンナケリブ王？

→王の手により、モアブは滅亡(BC701)

■いずれの町も不明。徹底した破壊が伺える。





## II. モアブの破滅と希望

イザヤ書16章

アルノン川

## モアブの助け 希望 イザヤ16:1～2

「おまえたちは、子羊\*をこの国の支配者に送れ。セラ\*から荒野を経て、娘シオンの山に。モアブの娘たちはアルノンの渡し場で、巣から放り出されて、逃げ惑う鳥のようになる。」

\*イスラエルの神にささげる犠牲の子羊。

\*エドムの都(ペトラ)

大患難時代後半のイスラエルの逃れの地。

■イスラエルはセラ(ペトラ)から都へ帰還。  
モアブの希望も、来たるべきメシアにある。



## モアブの助け    メシアの統治    イザヤ16:3

「あなたは、助言を与え、事を決めよ。昼のさなかにも、あなたの影を夜のように\*せよ。散らされた者をおくまい、逃れて来る者を渡すな。

\*メシアの影響が全地に及ぶ。

■メシアは助けを求める者には庇護者となる。



アルノン川

## 千年王国 永遠の王 イザヤ16:4~5

あなたの中にモアブの散らされた者を宿らせ、  
荒らす者\*から逃れる者の隠れ家となれ。虐げる  
者\*が死んで破壊も終わり、踏みつける者\*が地  
から消え失せるとき、一つの王座\*が恵みによっ  
て堅く立てられる。ダビデの天幕で真実をもっ  
てそこに座すのは、さばきをし、公正を求め、  
速やかに義を行う者。

\*“荒らす憎むべき者(マタ24:15)” → 反キリスト

\*永遠の神の国の王・栄光のメシア

■モアブにもイスラエルと共に逃れる者が?!





## モアブの裁き 高慢の結果 イザヤ16:6~7

われわれ\*はモアブの高ぶりを聞いた。彼は実に高慢だ。その誇りと高ぶりと不遜さ、その自慢話は正しくない。それゆえ、モアブはモアブ自身のために泣き叫び、すべての者が泣き叫ぶ。ただ打ちのめされて、キル・ハレセテ\*の干しぶどうの菓子のために嘆く。

\*三位一体の父子聖霊なる神

\*ヨラムとヨシャパテも攻略できなかった要衝の城塞都市。



## モアブの裁き

枯渇 イザヤ16:8～9

ヘシュボンの畑もシブマのぶどうの木も枯れた。国々の主たちがその房を打ったのだ。その房はヤゼルに達し、荒野を巡り、つるは伸びて海を越えていたのに。 それゆえ、わたし\*はヤゼルのために、シブマのぶどうの木のために泣く。ヘシュボンとエルアレよ、わたし\*はわたしの涙でおまえをぬらす。おまえの夏の果物と収穫を喜ぶ声が絶えてしまったからだ。

\*主の嘆き。イエスの嘆きに重なる(マタ23:37)

■見渡す限り葡萄畑は荒廃し尽くした。



## モアブの裁き ぶどう畑 イザヤ16:10

喜びと楽しみは果樹園\*から取り去られる。ぶどう畑\*の中で喜び歌うこともなく、大声で叫ぶこともない。踏み場でぶどう踏みをする者も、もう踏まない。わたし\*が喜びの声を絶えさせたのだ。

\*果樹園は、喜び、楽しみの特徴。

➡一切の喜び、楽しみが取り去られる。

\*メシア



ぶどう踏み場

## モアブの裁き 哀歌 イザヤ16:11~12

それゆえ、わたしのはらわたはモアブのために、わたしの内臓はキル・ヘレス\*のために、豎琴のようにわななく。

モアブが高き所に詣でて、そこで身が疲れ果てるまでのことをしても、その聖所に入って祈っても、何にもならない。」

\*“陶器の町”…キル・ハレセテの言い換え

→割れた陶器のように破壊された様子

■モアブのためにも悲しみ嘆く主の姿。

→一方の偶像礼拝の無意味さ。空虚さ。



## モアブの裁き 末路 イザヤ16:13~14

これが、以前から【主】がモアブについて語っておられたことばである。

今や【主】は次のように告げられる。「雇い人の年季と同じ三年のうちに\*、モアブの栄光は、そのおびただしい数の群衆とともに軽んじられ、残った者\*もしばらくすれば力がなくなる」と。

\*モアブのアッシリアによる滅亡(BC713頃)

→この預言の時、北王国はすでに滅亡!!

\*真実の主立ち返ったモアブの残れる信仰者

→その信仰も長続きはしない!!



モアブの荒野



### Ⅲ. アラムと北王国の裁き

イザヤ書17章

ダマスコ

## アラムの裁き ダマスコ イザヤ17:1~2

ダマスコ\*についての宣告。「見よ。ダマスコは取り去られて都でなくなり、瓦礫の山となる。

アロエルの町々は捨てられて家畜の群れのものとなり、群れはそこに伏して、それを脅かす者はいなくなる。」

\*イスラエルの仇敵アラムの首都

➡ダビデ、ソロモン時代は属国だったが、南北時代前半には、最大の脅威に!!

■アッシリアは、アラムをも滅亡させる。



## アラムの裁き 王国の滅亡 イザヤ17:3~4

エフライム\*は要塞を失い、**ダマスコ\***は王国を失う。**アラム\***の残った者はイスラエルの子ら\*の栄光のようになる。一万軍の【主】のことば。

その日、**ヤコブ\***の栄光は衰え、その肥えた肉は痩せ細る。

■南王国アハズ王の時代、**北王国\***は**アラム\***と組んで南王国の侵略を企てた。

➔間もなく**北王国**はアッシリアにより滅亡

➔**アラム**も同様、アッシリアにより滅亡





## アラムの裁き 捕囚 イザヤ17:5～6

刈り入れ人が立ち穂を集めて、その腕に穂を刈り入れるときのようになる。レファイムの谷\*で落ち穂を拾うときのように。

オリーブを打ち落とすときのように、取り残しの実が中に残される。こずえには二つ三つの熟れた実が、実りの多い枝には四つ五つが残される。——イスラエルの神、【主】のことば。」

\*エルサレム南西の平野、豊かな穀倉地帯。

■ アッシリア捕囚で、強制移住政策により、多くが外国に捕らえ移され、残る者はまばら。



## 大患難時代 主の日 イザヤ17:7~8

その日\*、人は自分を造った方に目を留め、その目はイスラエルの聖なる方を見る。

自分の手で造った祭壇に目を留めず、自分の指で造った物、アシェラ像や香の台は見ない。

\*主の日、世の終わりの裁き、大患難時代。

■主の日、神による空前絶後の裁きの末に、人々は偶像礼拝\*の空虚さを思い知らされる。



ペトラの岩山

## 大患難時代 諸国の滅び イザヤ17:9~10

その日、その堅固な町々は、森の中の見捨てられた場所、かつてイスラエル人によって見捨てられた山の頂のようになって、荒れ果てる。

あなたが救いの神\*を忘れ、あなたの力の岩\*を覚えていなかったからだ。それゆえ、あなたが好ましい植木を植え、他国のぶどうのつるをさしても、

\*救い主イエスは、諸国民のメシアでもある。

■すべての民が問われるのは、唯一のメシアを信じて受け入れたかどうか。それだけ!!



サマリアの遺跡

## 大患難時代 ざわめき イザヤ17:11~12

あるいは、あなたが植えた日にそれを生長させ、朝のうちに種を芽生えさせても、病と癒やしがたい痛みの日\*には、その収穫は消え去る。

ああ、多くの国々の民のざわめき。彼らは、海のざわめき\*のようにざわめく。ああ、国民のどよめき。彼らは、激流のどよめき\*のようにどよめく。

\*大患難時代…世界と人類の2/3が破滅に至る。

\*民の悲嘆の叫びは大きく、世界に満ちる!!



## 大患難時代    メシアの権威    イザヤ17:13

国民は、大水のどよめきのようにどよめく。  
しかしそれは、叱りつけると遠くへ逃げる\*。  
山の上で風に吹かれる籾殻のように、つむじ風の前でうず巻くちりのように、彼らは吹き飛ばされる\*。

\*裁き主として栄光のメシアが再臨する時、  
不信仰者は、なすすべなく裁かれる。

■ただ嘆き、恐怖に陥っただけで、福音を受け入れなかった人々には悲惨な末路が。



## 大患難時代 神のきよめ イザヤ17:14

夕暮れには、見よ、突然の恐怖。夜明け前に彼らはいなくなる\*。これこそ、私たちから奪い取る者たちの取り分、私たちをかすめ奪う者たちが受ける割り当て。

\*再臨のメシアが神の国と建てられる前に、不信仰者とすべての悪は、地上から、瞬く間に一掃される。神の国に彼らの取り分はかけらもない。



ガリラヤ湖



**IV. まとめと適用** 赦された民として、赦しの内に日々を歩もう

モアブの山地

## 諸国民への宣告に学ぶ、神の裁きの原則

- イスラエルの近親民族モアブに下された、厳しい裁き。
  - ➔ 主に近しいほどに増す責任がある。
  - 学びを重ね、知識を得るほど、応答の責任は重くなる。
- 第一に、神の民イスラエルへの裁きである、主の日。  
しかし、同時に、すべての民族も、神の裁きを免れ得ない。
- イスラエルも異邦人も、救いの道は、ただ一つ。  
私の罪のために十字架で死に、葬られ、復活されたメシアだけ。

**福音を信じたかどうか、すべての人の永遠の運命を決める!!**



## 敵のための預言の根拠は？

- イザヤは、ユダを脅かす**敵のために預言**した。  
なぜなら、主が彼らを愛し、彼らの罪を悲しまれているから。

「わたしはヤゼルのために、シブマのぶどうの木のために泣く。  
ヘシュボンとエルアレよ、わたしはわたしの涙でおまえをぬらす。16:9」

- モアブの町々の**名を具体的に挙げて**嘆かれた、あわれみ深い主は、私、あなた、**一人一人の名を挙げて**嘆かれる。  
たとえ、あなたがゆるせないその人の名も、主が覚えられている。

- 私、あなたが覚え、救いを願い祈る、その人の名を主が挙げ、嘆かれ、救いに招いておられることを覚えよう。

# 命じられたゆるしの根拠を確認しよう

## 主イエスの命令

マタイ福音書5章44～45節

しかし、わたしはあなたがたに言います。  
自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。

天におられるあなたがたの父の子どもになるためです。

父はご自分の太陽を悪人にも善人にも昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。

## 命じられたゆるしの根拠を確認しよう

■ 敵・迫害する者のために祈る。神の命令の根拠は？

➔ 神は、正しい者にも悪人にも等しく**恵み**を注がれているから

➔ だから私も、**恵み**の内に導かれ、救いにあずかることができた。

■ “救われる、**ゆるされる**”とは、“他者を**ゆるす**”こととイコールだ。  
救われ、永遠の命を得たから、私は他者を**ゆるす**ことができる。

➔ 愛に満ちた、公正な裁き主に、すべてを委ねれば、それでいい。

ゆるせない心を抱えたままで、信仰者の道は歩めない。  
最も強くゆるしの心を与えられるのは、主に使命に歩む時。

子なる神が嘆かれているように、  
一人の救いを覚え、嘆き祈ろう。

それが、罪赦され、神の子どもとされた、私の生きる道だ。

てん とう  
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、<sup>そむ</sup>罪を<sup>つみ</sup>重ねてきました。  
ひび おか つみ こくはく つみ  
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、<sup>かみ</sup>神のみ子<sup>こ</sup>イエス・キリストが、  
つみ あがな じゅうじか し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ

②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ

③三日目に復活した<sup>しん</sup>こと、を信じます。

わたし つみ ゆる えいえん かみ こ  
私の罪は赦され、永遠に神の子どもとされました。

しゅ ゆる うち ひとり すく もと なげ もの  
主の赦しの内<sup>しゅ</sup>にあって、一人の救いを求め、嘆く者としてください。

わたし いのち えいえん しゅ  
私の命はすべて、永遠に、主よ、あなたのものです。

はかりしれないこの恵<sup>めぐ</sup>みを、日々証<sup>ひび</sup>しする者として遣<sup>あか</sup>わしてください。  
もの つか

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」